



左沢町場地区の概要図

[ 左沢町場地区に分布する主な要素 ]

内容	説明
御免町囃子座保存会	天保14年(1843)に囃子屋台が製作され、近世の天満宮祭礼などで町内を巡幸した。現在の屋台は平成10年に復元され、左沢の「御免町」周辺の左沢10～12区によって「御免町囃子座保存会」が結成され、「おおえの秋まつり」に参加している。屋台は七区囃子屋台とともに、JR左沢駅隣の「交流ステーション」で展示されている。
七区囃子屋台	現在の屋台は嘉永2年(1849)、町内の豪商たちが米を出し合って造ったとされる内町組の屋台を復元修理したもので、かつては横町にも屋台が存在した。近世は天満宮祭礼で町内を練り歩いた。平成6年に「七区囃子屋台保存会」が結成されて屋台が復活し現在は秋まつりに参加している。
「おおえの秋まつり」	八幡神社例大祭で現在も囃子屋台やシン踊りなどが参加する「練り物」が町内を巡っている。



御免町囃子座保存会

[ 左沢町場地区に分布する主な要素 ]

内 容	説 明
小漆川城跡	元和8年(1622)、左沢藩主酒井直次によって築城された城跡。高台の台地上に城と武家屋敷が建設され、現在も地形や地割にその名残を見ることができる。
松山藩左沢代官所跡	左沢は左沢藩廃絶後、庄内松山藩酒井家の左沢領となり代官所が置かれた。代官所は元禄年間前後には現在のふれあい会館の位置に建設されていたとみられる。代官所付近の「代官小路」「袋町」などに武家が居住していた。
月布川	上流部に青芋等の商品作物を生産した農山村集落が散在する。左沢の繁栄にはこれら集落に対して「谷口集落」として物資集散地であったことが欠かせなかった。
市の沢川	小漆川の台地の北と東に急峻な崖を形成し、小漆川城が建設された要害の地の地形を構成する川。また小漆川城の東側では、城と左沢の城下町を隔てていた。
鉤型・丁字型の道	近世の城下町で直進を避けて建設された道の形状であり、近世の絵図で確認できる。現在も小漆川の台地や天神前などに見ることができる。
実相院・称念寺	中世左沢楯山城の麓元屋敷に建設され、近世、小漆川城下町建設の際、現在地に移転したとされる寺院。
法界寺	慶安元年(1648)に開かれた庄内松山藩の菩提寺。
神明社	小漆川城と城下町造営の一環として、小漆川城の鬼門にあたる台地上の現在地に祀られた。
天満神社 (祭 礼)	近世には松山藩の庇護を受け、4日間にわたって祭礼が営まれた。御神輿、獅子踊り、囃子座、手踊りとともに武士、実相院僧侶、大庄屋が加わって盛大な祭礼が行われており、城下町を支配した武家が関わる側面と、繁栄する舟運河岸をもって富をたくわえた町衆が関わる側面の2つの性格や文化的要素がみられた。
八幡神社 (松山藩左沢代官所 米蔵跡)	小漆川城下町建設時に左沢楯山城跡内から前田に移転したとされ、明治16年には現在地に移転した。明治期には、獅子踊りや囃子屋台が、八幡神社例大祭の神輿渡御行列に奉仕した。現在は八幡神社例大祭を「おおえの秋まつり」と称し、囃子屋台や獅子踊り等が参加する町内最大の祭りに変貌を遂げている。現在の八幡神社境内地は、松山藩左沢代官所の米蔵があり、代官所との間の「袋町」には武家が居住した。左沢領の蔵米は米蔵に程近い川口橋付近で積み降ろされたと伝わる。
原町通りから 川へ続く道	近世「山形道」の街道筋で、原町口番所北側から桜町渡船場へ至る道。道沿いに舟持ちなど川に関わる生業を持った人が居住していた。
米沢舟屋敷跡	元禄年間の京都の米沢藩御用商人西村久左衛門による五百川峡谷の開削の時、舟屋敷が上流の糠野目(高畠町)、宮(長井市)、正部(白鷹町)と左沢に整備された。西村久左衛門は普請に際して左沢の海野権四郎に土地の借用と船頭雇用等の協力を依頼している。現在の旧最上橋たもとに位置する。
巨海院 (金毘羅堂)	左沢楯山城跡「寺屋敷」、後に麓の元屋敷に存在し、寛永4年、酒井直次が小漆川城の北西に移して菩提寺とするとともに、西・南を土塁で囲って小漆川城の支城の役割を持たせた。一方で巨海院には金毘羅堂があり、船乗りや左沢商人の信仰を集めた。
大瀧山不動尊 (波切不動)	元屋敷に位置する。左沢船乗りの信仰が厚く、左沢船乗りが奉納した宝剣額も納められている。
内町・横町通り 原町通り 御免町通り (通りと街並み)	小漆川城の城下町で、置賜へ至る西部街道などの街道筋に連なる主要な通り。道沿いに短冊地割が形成され、建造物が並び、店、住宅、土蔵、畑という土地利用がうかがえる。小漆川城下町で最上川舟運による交易などの生業に従事し、文化の形成を担った町人が居住した街並みを継承する。



囃子屋台 (七区囃子屋台)



小漆川城跡 (森ノ宮から)



原町通り (通りに面した店蔵)



内町・横町通り (中央通り商店街)



御免町通り (天満神社と鉤型の道)



最上川から原町通りへの道 (左側が「米沢舟屋敷跡」)